

総額349億3千200万円

新年度予算は、3月5日に開会した市議会定例会議に上程、25日に各上程議案が可決され、散会しました。

一般会計予算

一般会計予算規模の総額は、146億6千100万円となっております。前年度当初予算は、市長選挙の関係で「骨格予算」となったことから、肉付け後の実質的当初予算にあたる平成25年度6月補正後（130億9千300万円）に比べて、12.0%増（15億6千800万円）となっております。

前年度（平成25年度6月補正後）に比べて予算額が大きく増加しているのは、主には普通建設事業費で約12億5千万円の大幅増となっているほか、消費税率の引上げに伴う景気・経済対策として、「臨時福祉給付金支給事業」および「子育て世帯臨時特別給付金支給事業」を併せて、約2億1千万円の臨時的経費などを計上しているためです。

今後、中長期的な財政見直しについては、最重要施策として計画的な整備推進が求められる防災・減災対策をはじめ、新年度当初予算にも計上している新中学校建設事業や葬斎場建設事業などの大型事業が控えております。それら大型事業費の予算措置により、後年度の公債費負担増が単年度収支に及ぼす影響なども懸念されることから、引き続き行財政改革の手綱を緩めることなく、長期的にも持続可能な財政運営を行わなければなりません。

ホール自主公演事業など。

【産業の振興】

☆就農定住支援事業、6次産業化支援事業、地域経済振興支援費補助事業など。

【働きたい人が働ける環境づくり】

☆新規雇用創出奨励事業、シルバ1人材センター運営補助事業など。

【快適に暮らせる生活基盤の整備】

☆葬斎場建設事業、最終処分場容量測定事業、ごみ焼却施設整備事業、小集落外壁改修事業など。

【魅力ある都市基盤の整備】

☆公共交通（市営バス）対策事業、高速道路対策事業など。

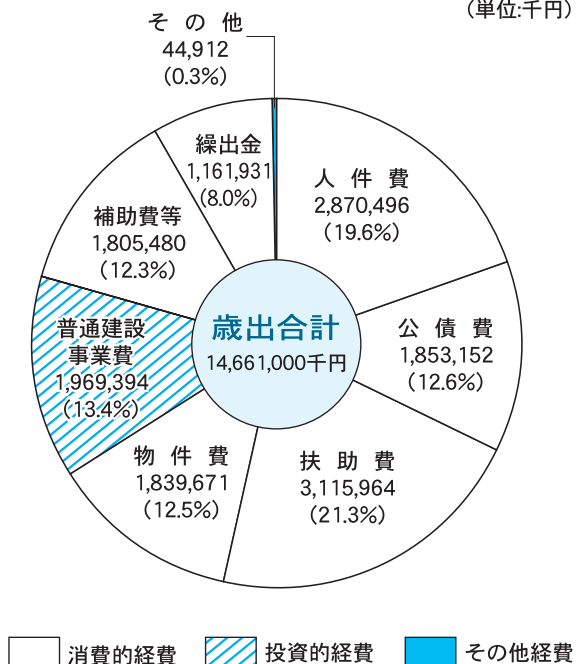
主な普通建設事業は次のとおりです

（百万円未満は四捨五入）

- ☆都市基盤整備事業 6千600万円
- ☆消防施設整備事業 300万円
- ☆公営住宅整備事業 7千400万円
- ☆庁舎・福祉施設整備事業 5億8千500万円
- ☆文教施設整備事業 7億1千700万円
- ☆農林水産事業 1千800万円
- ☆道路・河川整備事業 1億8千500万円
- ☆環境衛生整備事業 3億2千100万円

一般会計歳出（性質別）の状況

（単位：千円）



特別会計予算

【競輪事業特別会計】

地方公共団体の財政資金の調達を目的として設けられている収益事業です。収支改善計画に基づき、経費節減などの取り組みを推進しています。前年度比2.8%の減となっております。

【後期高齢者医療特別会計】

原則75歳以上の方が加入する医療制度です。県下の市町村が加入する広域連合への納付金を支えます。前年度比9.1%の増となっております。

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

前年度比1.5%の減となっております。

【土地取得事業特別会計】

公共用地を先行取得するために必要な事業です。前年度予算と同額となっております。

【介護保険特別会計】

介護保険制度を社会全体で支えるための特別会計です。前年度比0.3%の減となっております。

【公共下水道事業特別会計】

社会資本整備の一翼を担う事業で、生活排水や雨水などをきれいにして海域などに放流することで、河川や海域の水質を保全し、環境美化の推進に役立っています。金磯第二排水区排水路整備工事などを、前年度比16.0%の減となっております。

《今月は、軽自動車税全期分の納付月です。》

市税の納付は、確実・安心・便利な口座振替をご利用ください。

2014年（平成26年）4月5日
広報こまつま